

江戸・東京歴史文化ルネッサンス

基本構想

世界は、21世紀初頭から、歴史的・文化的創造による都市間競争（特に首都の都心部）の時代に入り、地球規模の大交流時代が到来している。一方、国際都市東京の世界に類を見ない超少子・超高齢化社会の課題解決に、今、世界の注目が集まっている。

1. 首都東京は、四百年以上蓄積された世界に誇るべき、傑出した歴史文化遺産を潜在化させている。先進諸国のトレンド「クリエイティブシティ（歴史・文化と創造都市）」を視野に、首都東京の歴史的伝統と文化的個性に光を当て、都市の品格を創造していこう。
2. 静謐で、特別な環境にある皇居東御苑に復元する江戸城は、日本一壮大で美しく、櫓、門、石垣、豊かな水を湛えた濠は、勇大なスケールで城郭を包みつつ、江戸から東京へと移り変わりゆく旧城下町へと続いている。江戸城再生は、市民の誇り（シビックプライド）となり、平和のシンボルとし、近未来の世界遺産を目指していこう。
3. 日本の城郭建築の最高到達点である「江戸城」は純国産の木材により復元し、伝統工法で日本の「木・土・石・水・豊かな自然と伝統技術の継承」を世界にアピールしていこう。
4. 伝統と革新が共存・融合するコスモポリタンの首都東京は、「歴史文化まちづくり」により、住んで好し、訪れて佳し、楽しさのある都市東京を実現し、日本の津々浦々へ、そして、世界の国々へと、双方向で交流を進め、国内外の地方創生の礎としていこう。
5. 江戸・東京歴史文化ルネッサンスは、国家的事業であり、それを支える市民運動に主体的に参画し、産学官民の協働を進め、公益に資する社会的使命を果たすことにより、持続可能な真の文化観光先進国を創造し、日本の発展に寄与していこう。

2018年7月

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会